



発行：豊町東町会 編集：事務局広報部  
 お問合せ 豊町ふるさと会館 Tel & Fax 04-7169-1101

今号のご案内

- 餅つき大会のご案内
- 第 35 回文化祭を開催
- わが町の“顔”：武藤将彦さん
- 水戸街道物語 第 6 回

餅つき大会に集まれ！！

1 月 13 日(日) 11:30～ 豊小学校校庭



町会の事始め「新春餅つき大会」を実施します。豊小学校の協力で広い校庭にたくさんの人を迎え、新春を祝って楽しいひと時を過ごしていただくイベントです。成年部、婦人部、子供会が中心になって 90kg の餅をつき、手作りの豚汁とともに参加する皆さんに無料で味わっていただきます。また、子供会の「柏元気太鼓」の披露や、シニアクラブ「明寿会」の皆さんが羽根つき、コマ回しなど昔の正月の遊び方を教えてください。

緊急避難場所である豊小学校への順路を確認し、災害時の避難・炊き出し訓練も兼ねている餅つき大会。食器と箸を持参して、ご家族やご近所を誘ってお出かけください。

●「はしご乗り」の実演も

町内の「高橋鳶」さんのご厚意により、伝統の「はしご乗り」を披露していただきます。江戸の火消しから現代に引き継がれている日本固有の文化をぜひ間近でご覧ください。木遣り節とともに纏（まとい）をかざしながら登場する「柏若鳶会」の皆さんの妙技をお楽しみに！



●みんなで「ドラム・サークル」



昨年も多くの参加者が集まった「ドラム・サークル」を今年も実施します。経験も練習も不要。リードする人に合わせドラムをたたくと、みんな友達になってしまいそうになる不思議なイベントにぜひご参加ください！

※今回の「新春餅つき大会」をはじめ、今後の豊小学校で行われるイベントに関しては、豊小学校に通う全校生徒の児童、親御さんに向けてお知らせを配布致します。

敷地の中もチェック

2 区、3 区で防犯診断

防犯協会富里支部（7 町会で構成）の防犯診断、わが町会では継続して定期的に行っています。11 月 17 日に、2 区と 3 区で行いました。いつものように柏市防災安全課、柏警察署、南柏駅前交番の職員、署員の指導で、自分たちの住む町内を歩いて安全度などをチェックしました。今回は新たに住んでいる人の了解を得て、住宅の敷地に入り、敷地内をぐるりと回って戸締りの補強法や、2 階への足場となるものへの注意などの診断を。参加した人は「具体的なアドバイスでわかりやすかった。町の安全はまず自分の家から…」と話していました。



資源ゴミ報奨金でゴミ袋を

これからもゴミの分別にご協力を！

今年も資源ゴミの分別活動に対する柏市からの報奨金で、全戸へゴミ袋を配布致します。来年も、日頃からの分別を心がけましょう！

## DVD 上映や歴史資料

### 文化祭に積極的に出展



ふるさと協議会主催の第35回文化祭が、11月3日、4日、近隣センターで開かれ、書、

絵画、陶芸、手芸など地域のさまざまなサークルや個人の作品が展示され、鑑賞に訪れる人のにぎわいました。

豊町東町会からも、絵手紙、アートクラフト、陶芸など多くの作品が出展されました。ふるさと会館を拠点



にしているサークルの作品が多かったようです。また、和室では豊町町会再編 20 周年記念企画で作成した、町会や地域の歴史をふり返る DVD を終日上映。昨年展示した「小金原勝景

絵図」とともに、この地域の原形である「小金原」をテーマにした絵、地図などの資料に、水戸街道を探索するツアーの取材写真も加え展示。歴史に興味を持つ人たちの関心を集めていました。



駐車場の模擬店（2日目）では、今回も成年部、婦人会が担当して、うどんとおにぎりを販売。昼時の軽い食事として好評でした。



## 秋空の下、体育祭

### わが町会は 3 位でした



ふるさと協議会のふれあいの集い体育祭も今年で 37 回目。今回は豊小学校校庭での開催で、7 町会から多

数の人が参加し、秋空の下、19 競技にわたって熱戦を繰り広げ、運動とふれあいを楽しみました。町会対抗競技（6 チーム）で豊町東町会は 3 位と健闘。会場が豊小とあって、同小 P T A の「オヤジの会」のお父さんたちが、会場への道案内や駐車場への車の誘導役をつとめ、不案内な他町会の人たちの便宜を図りました。

## 支えあいなど地域事業を

### NPO 法人「YeN」来春発足

町会や世代の枠を超えて、支えあいなど地域活動を推進してゆくための N P O 法人「YeN」は、来春のスタートをめざして設立準備が進められています。



法人が行う非営利活動は、支えあいなど安心なまちづくりの推進、環境の保全、子どもの健全育成、災害救援など多岐にわたっています。学術、文化、スポーツの振興も重要な活動のひとつ。来年は、「豊四季」開墾 150 周年を迎えます。いま住所が「豊四季」なのは、わが町会ともう 1 か所だけですが、昭和 40 年代なかばごろまで、広い地域が「豊四季」でした。小金牧のひとつ「上野牧」がそっくり豊四季になったとされていますが、実際に現在のどの地域までがそうであったのか、判然としていません。

150 年という記念の年に、私たちの住む「豊四季」の成り立ちや歩みや歴史を研究しているグループの資料などをまとめて、ネット上に博物館を立ち上げようという企画も N P O 法人



の文化事業として進める予定です。



柏市内でも有数の「長寿」

55周年を迎えた「明寿会」



シニアクラブ「明寿会」(田中達雄会長)が創立55周年を迎え、このほど記念式を行いました。昭和38年、

柏市老人クラブ連合会の発足に伴い、同年10月10日に結成。柏市内でも55年もの歴史を持つクラブは5団体だけ。

人口の増加に伴い、平成19年ころまでは、80人ほどの会員がいましたが、その後は減少傾向。現在の会員は35人。田中会長は「生きがいをみつけて活動しないと老いてしまう。声掛けをして地道に入会活動を続けたい」といいます。

会の活動として、町内のゴミ拾い、豊小児童の下校時の見守りなどを行い、地域に貢献しています。



55年の節目に当たり町会の佐野治人会長は「55年もの歴史を持つシニアクラブは当町会の誇りであります。地域と向き合ってさまざま世代と協調しながら活動される皆さんは、のちに続く世代の道標。ますますお元気で60周年、70周年を迎えられますように」と祝辞を寄せています。

地元の神社でお参りしよう

わが町会と近くに2つの神社があります。新木戸の別雷(わけいかづち)稲荷神社は明治3年創建。開墾に入った私たちの祖先が雨乞いと心のよりどころとして大切にしてきた神社。わが町会と富里町会の境界のあたりにあるのが神明神社で、こちらにも入植者のために創建されています。両神社では、大晦日から元旦にかけ、甘酒や御神酒をふるまいます。初詣に訪れては…

わが町の「顔」：武藤将彦さん

●「心」と「技」を込めて！

大工としてこの世界に入り早25年。たくさんの仲間やお客様に支えられて、ここまで来ました。

建築は日々進化しており、技術もまた進化しています。その中で、昔ながらの工法も伝承しながら、お客様が声をかけてくれる喜び、仕事ができる喜び、仲間とともに作り上げていくチームワークが大切だと考えています。



「心」を込めてつくり、「技」を込めてつくり上げる。そして、お客様に「感動」と「喜び」を感じていただける。これからも、そんな家づくりをしていきます。

仕事以外では、今年発足した「雑大工(ひよっこだいく)」という日曜大工クラブで、ちょっとした家具などを作りながら、工具の使い方や技術を教える講師も務めています。老若男女問わず参加できますので、興味のある方は是非ご参加ください。私と一緒にスタッフとなって指導してくれる職人さんも募集中です！

●プロフィール

武藤将彦(むとう・まさひこ)

株式会社むとう工務店

代表取締役

1級技能士/2級施工管理技士

〒277-0863

千葉県柏市豊四季 694-15

TEL 04-7108-7660 FAX 04-7108-7661

E-mail: mutoh-koumuten@jcom.home.ne.jp

※柏市リサイクルプラザリボン館で開催される「包丁砥ぎ教室」なども担当しています！



「雑大工」の仲間たちと！



家の家紋が張ってあります。「×」の家紋に驚いたり、ちっちゃな発見も楽しみです。



現代の商店街の中であって、紙間屋を営んでいた「横山家」は往時の面影をとどめています。まもなく信号のある交差点を右折すれば細い道路。これが旧水戸街道の始まりの地点。交差点わきに「東旧水戸佐倉道」「北 旧日光道中」の道標があります。

広報部で旧水戸街道を歩いて歴史にふれてみようという提案があり、早速有志で探索してみました。旧水戸街道が始まるのは北千住宿のはずれですが、「江戸の北の玄関口」といわれ、奥州、常総の 64 もの大名が通ったという千住大橋から歩き始めました。そのレポートをお届けします。

●まず芭蕉の句碑から



千住大橋は隅田川の橋としては最も古く、文禄 3 年 (1594) に最初かけられたといわれ、広重の「名所江戸百景」にも描かれています。橋を渡って左手の大橋公園に、芭蕉が奥の細道に旅立つとき「行春や鳥啼魚の目は

涙」という句を作り矢立の初めとしたという「おくのほそ道矢立初の碑」があります。この公園の隅田川べりには小金原の狩に向かう将軍の舟を描いた絵や古い地図など興味深い資料が展示された「青空博物館」となっています。

●旧道へ入れば「やっちゃ場、跡

左手の新日光街道 (国道 4 号) と右手にある足立市場の間に入るのが旧日光街道 (水戸街道も)。一方通行の細い道です。



街道の両側は野菜、果物、川魚、米などの問屋が三十数軒も立ち並んでいたという、やっちゃ場跡。現代の建物の軒先にある「川崎屋」「柏屋」など木札に墨書された古い屋号に、その名残を残しています。

●小さな石標を見落とさないで



宿場の中心部には大名が泊まった本陣や高札場、問屋場、一里塚などがあったのですが、いずれも、見落としそうな小さな石標があるだけ。街道の両脇にある電柱には、ここを通った大名

●今はない、「槍掛けの松」

しばらく進むと左手に水戸光圀公が休息するさい槍を立て掛けたと伝えられる「槍掛けの松」があった清亮寺。昔から近所に住む人によれば、昭和 20 年代ごろまで道路 (街道) にかぶさるように松の木が見られたといいますが、枯れて、今は、ありません。



JR 線、東武線の下をくぐって少し歩けば荒川の堤防に。隅田川のたび重なる洪水のため政府が明治 44 年 4 月から放水路の工事に着手、昭和 5 年に完成したのが荒川放水路 (荒川) で、旧水戸街道はここでいったん途切れます。

●小菅御殿から東京拘置所へ



北千住駅に引き返し、東武線に乗って、小菅駅で下車。すぐ左手にモダンな建物の東京拘置所があります。手前の小菅万葉公園にある案内板でこの歴史がわかります。

最初は関東郡代の下屋敷。8 代将軍吉宗の時、下総小金原の鹿狩りのさいの休息所として小菅御殿が建てられ、のちに幕府の非常用穀倉に変わります。万延元年 (1861) 小菅銭座が置かれ、小菅県誕生の時は県庁にもなっています。明治に入ってレンガ工場が作られ、桜マーク入りのレンガはよく売れたとか。さらに小菅集治監、小菅刑務所、そして今の東京拘置所に。過去、実にたくさんの顔を持っていたのです。(つづく)